

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ

## ② 施設・事業所情報

名称：アミー保育園 高島園	種別：認可保育所
代表者氏名：白鳥 真弓	定員（利用人数）：40名（利用者 33名）
所在地：〒220-0011 横浜市西区高島2-2-7 プレシス横浜2階	
TEL：045-534-7432	
ホームページ：https://a-m-i-corp.com/company.html	
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2019年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：	
職員数	常勤職員：8名 非常勤職員：10名
専門職員	（専門職の名称） 名 看護師 1名
	保育士 10名 栄養士 1名
	保育補助 3名 調理員 3名
施設・設備の概要	（居室数）4室
	（設備等）調理室、シャワー室、事務室兼医務室

## ③理念・基本方針

保育理念	『健全なこどもは健全な環境が創造する』
保育方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>「触れる 声を掛ける 抱きしめる」優しい保育</li> <li>・子どもの人権を尊重し、一人ひとりの成長と発達を大切にする保育</li> <li>・豊かな経験や遊びを通じ、自立心、社会性、協調性を育む</li> <li>・保護者及び地域に寄り添った子育て支援</li> </ul>
保育目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心身共に健康で元気な子</li> <li>・思いやりのある子</li> <li>・感動を表現できる子</li> </ul>

## ④施設・事業所の特徴的な取組

優しい保育
<p>触れること（心に触れる、体に触れることで子どもとの信頼関係、愛着の形成を促していく）</p> <p>言葉掛けをすること（声掛け、働きかけをすることで遊びの発展や言葉の表出を促したり、人とのつながりややり取りの楽しさを知る）</p> <p>抱きしめること（ぎゅっと抱きしめることでぬくもりと安心を届けていく）</p>
感性育成プログラム
① アートセラピー(子どもの自由な発想を広げていく)

- ② 紙芝居の会(創造性を豊かに培っていく)
- ③ 体操教室(運動機能の発達を促す)

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和2年7月2日(契約日) ~ 令和3年3月1日(評価結果確定日)
受審回数(前回の受審時期)	初回( 年度)

⑥総評

◇特に評価の高い点

1)「優しい保育」の実践

子どもの欲求や気持ちに添って優しく対応し、きめ細やかな関わりを持ち、法人が掲げている「優しい保育」を実践しています。子どもの様子から気持ちを把握し、優しく話しかけたり、ぎゅっと抱きしめることで子どもに安心感を与え、愛着の形成を図っています。「優しい保育」の取り組みをとおしたエピソードを記録して全職員で意見交換を行っています。

園長は、園で大切にしていることについて聞かれると「子どもを待ってあげることです」と答えています。職員は、遊びから次の活動に移る時や、散歩の身支度をする時には、一人ひとりの子どものペースを尊重し、納得して活動の切り替えができるように優しい言葉かけをして待つことにしています。一人ひとりの子どもの心に寄り添い、子どもが集団の中で安心して自分を表現し、自己肯定感を得ることができるよう取り組みを行っています。

2)子どもの主体性を育む取り組み

玩具や絵本は子どもの視線を考慮して配置し、0歳児・1歳児の玩具は、腹這いや座った子どもが自分で選んで取ることができるように棚の一番下に並べています。職員は子どもたちの遊びの状況を見てマットやテーブルを並べてコーナーを作り、それぞれの遊びに集中できる環境を作っています。職員は、後片付けまでが遊びであるという共通認識を持っています。好きな遊びを自分で選び、遊びに集中した後は自分で片付けるという主体的な活動ができるように環境を整え、子どもたちに働きかけています。

各クラスでテーマを決めて、発達に応じた遊びと環境設定について考える取り組みを行っており、職員会議で意見交換をしています。子どもたちが見通しを持って生活や遊びに取り組めるようにその日の活動を伝え、着替えや手洗いなどの基本的な生活習慣の意味を理解して、自発的に取り組めるように配慮しています。職員が連携して、遊びや生活の中で子どもの主体性を育む取り組みを行っています。

◇改善を求められる点

1)事業計画(中・長期計画と単年度事業計画)の策定

法人では、経営環境と経営状況の把握・分析にもとづき、課題の解決や改善に向けての取り組みが進められていますが、経営や保育に関する中・長期の事業計画及び収支計画の策定には至っていません。

理念や基本方針の実現に向けたビジョンを明確にして、組織体制や設備の整備、人材育成、地域ニーズにもとづいた取り組み等に関する中・長期的な計画の策定が期待されます。また、単年度の事業計画は園の年間行事計画のみ作成されていますが、当該年度における園の保育の取り組み等の目標を具体化した事業計画の策定が期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

横浜保育室から認可移行し2年目となる今年度、第三者評価を受けさせていただきました。在籍園児が来年度全てのクラスで定員に至るタイミングで、これまでの振り返りとこれからの保育を考える良い機会になりました。まだまだ地域との関わりは少ないですが、今後の課題として取り組んでいきたいと思っております。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり